



在宅医療・介護連携推進協議会から

ちょっと

いいかい(医~介)

特集
通所リハビリテーション
(デイケア)

VOL.3

デイサービスは知っているけど、デイケアってなに？そんな疑問にお答えします。

デイケアってどんなところ？

通所リハビリテーション(デイケア)は、介護老人保健施設や医療機関などで、入浴などの日常生活上の支援や身体機能向上のためのリハビリテーションを日帰りで行います。

※施設により定員、実施時間、専門職種などサービスの内容が異なります。

利用者の方へのインタビュー！



Q デイケアに来たきっかけを教えてください。

A 畑で倒れて病院に行ったら脳梗塞だった。脳梗塞になり身体が不自由になりました。涙が出るほど悔しかった。病院から退院後、少しでも手足が上がり元に戻るよう家族のすすめで通いました。

Q 利用開始時はどうでしたか。

A もとの身体に戻れないのが悔しくて。でも、少しでも良くなりたくて。職員のみんなが親切だから一緒がんばれたよ。いつか昔のように畑に戻りたいからもっとがんばりたいね。

Q デイケアを利用しての感想を聞かせてください。

A ここ(現在通っているデイケア)は自分の家と一緒にだよ。居心地が良くてね。自分の家が二つあるみたいに過ごしているよ。

県北健康福祉センター阿久津保健師、
自治医科大学医学部生吉田さん&三澤さんが見学してきました！



デイサービスとデイケア、名前が似ているので自分も見学前は大きな違いはわかりませんでした。しかし、実際に見学すると専門職の方ときめ細かなリハビリをされ効果をあげている様子を感じました。デイケアも多くの方の選択肢になればと思います。



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった専門職のスタッフが利用者とリハビリを行っていました。また、利用者家族への勉強会もしているそうです。「リハビリを始めて片麻痺の手足が少しずつ動くようになり、いつか昔のように畑仕事がしたいからもっとリハビリを頑張りたい」と楽しそうに語ってくれたことが、利用者・家族どちらにとってもメリットになると感じました。

デイケアでのリハビリ内容は、それぞれ個別の状態に合わせて計画が立てられ、定期的に見直しがされていました。自宅での生活にあわせ階段の上り下りやお箸を使ったリハビリもありました。それぞれ自分のメニューのリハビリを行うだけでなく昼食や入浴など合間の時間には楽しく過ごされているそうです。脳梗塞等病気後の方だけでなく、生活機能や認知機能に少し不安を感じるようになってきた方なども利用が可能とのことなのでひとつの選択肢として利用の検討をしてみたいでしょうか。

